

## 金融市場体験学習の感想レポート

長崎大学経済学部 3 年

今回の体験学習では、実際の現場を見たり働いている方々からリアルなお話を聞いたりなどとても貴重な体験をすることができた。トレーディング業務研修では、初めて聞くような専門的な単語が多くあり理解するのが少し難しかったが、これからニュースや新聞から情報を得る際に役に立つような知識を多く得ることができた。今回の体験学習の中で、特に証券会社では多くの情報を持っていることが大切だということがわかった。私は証券に興味があるので、これから毎日、日経新聞を読んで、社会の経済の流れを取り入れていきたいと思った。今まで証券会社の仕事は営業のイメージがあったが、部署によって仕事内容が全く異なり、それぞれの業務の楽しさや大変さについてお話を聞くことができとても勉強になった。今回お話しした職員の方々は皆楽しそうに仕事について話している印象があり、自分もそのように楽しいと感じられる職場に就きたいと感じた。日本銀行や東京証券取引所では、日本の金融の歴史を資料等を直接見て学ぶことができ、大変貴重な時間を過ごすことができた。株のシュミレーションでは、実際に自分で株の売買を体験することができて、とても楽しかった。今回の体験では証券についてはもちろんだが、就活において大切なことについても学ぶことができた。ネットで調べるのとは違って、実際の職場を見たり職員の方と話したりすることで、リアルな雰囲気を味わうことができた。この金融市場体験学習に参加できて心から良かったと思う。瓊林会の方々に感謝します。

## 金融市場体験学習の感想レポート

長崎大学経済学部 3 年

この度は、金融市場体験学習という機会を設けていただきありがとうございました。多くの方々のご協力の上、私がこのような体験ができたことを実感いたしました。今回、証券会社への企業訪問があり、普段見ることのできないトレーディングルームの見学や、各部署の社員の方のお話を聞くことができました。元々、証券会社はお堅い会社だと思っていましたが、証券会社はアットホームな雰囲気を感じました。また、営業のイメージが強かったのですが、1つの証券会社だけでもトレーディング業務から市場調査などさまざまな業務があり、他の業種・企業も知らないことがたくさんあると思うのでいろんな業界を見たいという気持ちになりました。株を見ていると世の中のことを知ることができるのは魅力的な仕事だと思いました。アセットマネージャーの方がおっしゃっていたことで印象に残っていることがあります。就職ランキング上位には食品メーカーが上がっているが、規模としては、有名企業でもそこまで大きくはないということです。就活をする上で、普段目につきやすいB to Cの企業だけでなく、B to Bの企業ももっと知りたいと思いました。また、投資について質問したとき、今、10万円を株などで20万円にするよりも、将来の給料を10万上げることに投資した方が良くとおっしゃっていたのも参考になりました。

先のことを見据えた上で、今の行動を考えなければいけないと感じました。

私は、将来仕事をするとき、営業職はできるだけ避けたいという気持ちがありますが、地方で働くことになると、本社が東京などにある企業では、総合職として働くなら、本社になると思うので、何を優先する事項か等も決めていかなければならないと思いました。今回の体験では、本当に有意義な時間を過ごすことができました。貴重な体験をありがとうございました。